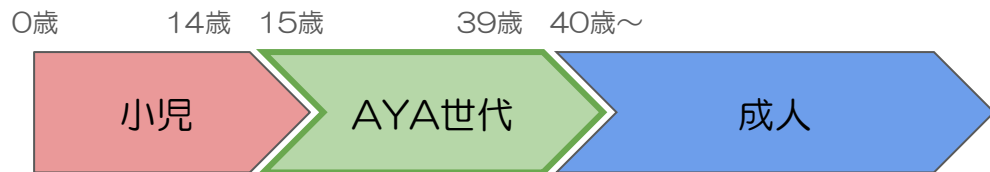


A pair of hands is shown holding a light blue shield-shaped graphic. Inside the shield, there is a carnation flower with two buds and the text "Permanently Nursing" written in a cursive font. The background is a soft, out-of-focus image of a person's torso.

子宮頸がんを知ろう

秀明大学看護学部母性看護学分野

AYA世代のがんとは？



AYA（アヤ）世代とは、小児と成人に挟まれている世代で、15歳～39歳の方をさします。

この世代の方は、小児に好発するがんと成人に好発するがんが共に発症する可能性がある年代です。

罹患率の高いがん

15歳～19歳では、小児にも発症しやすい白血病、リンパ腫、骨軟部腫瘍、脳腫瘍などのいわゆる希少がんが多いです。

20代では、徐々に減少していきます。

30代では特に女性の乳がん、子宮頸がんや消化器がんといったがんが多くなります。



WHO 子宮頸がん撲滅宣言

WHOは、子宮頸がん根絶のためのグローバル戦略を発表しました。ワクチン接種、スクリーニング、治療という3つの重要なステップについて概説し、3つ全ての対策が成功すると、2050年までにこの病気の発生を40%以上減らすことができ、500万人の死者を減らすことができます。

2030年までの目標

90%

15歳までの少女90%
にHPVワクチンを接種。

70%

35歳までに女性の70%
が高性能スクリーニング
を受け、45歳までに再
度行う。

90%

頸部疾患と特定された
女性の90%が治療を受
ける。



子宮頸がんとは

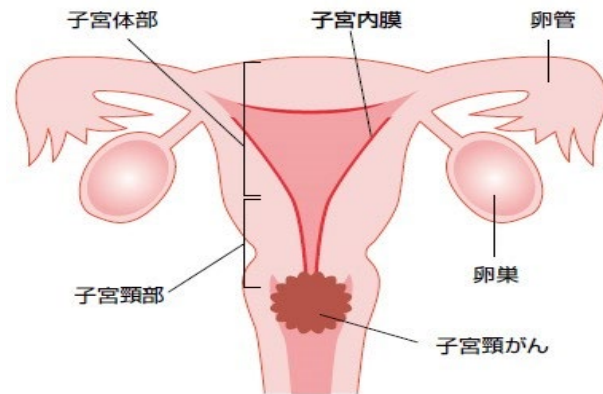
子宮下部の管状の部分子宮頸部と呼び、その部位に生じるがんを子宮頸がんといいます。ヒトパピローマウィルス（HPV）が子宮頸部に感染すると、風邪を引いてもいずれ治るように、ほとんどの場合は自分の免疫の力でHPVを排出することができます。しかし、10人に1人ほどの割合でHPV感染が続いてしまい、その状態が5～14年続くと、子宮頸部異形成と言われる子宮頸がんの前段階、もしくは子宮頸がんが発症すると報告されています。

子宮頸がんは、子宮がんのうち約7割程度を占めます。

最近では20～30歳代の若い女性に増えてきており、罹患者は20～40歳代が大半を占めています。

国内では、毎年約1万人の女性が子宮頸がんにかかり、約3,000人が死亡しています。

また2000年以後、患者数も死亡率も増加しているがんです。



出典：日本産科婦人科学会、子宮頸がん、
https://www.jsog.or.jp/modules/diseases/index.php?content_id=10



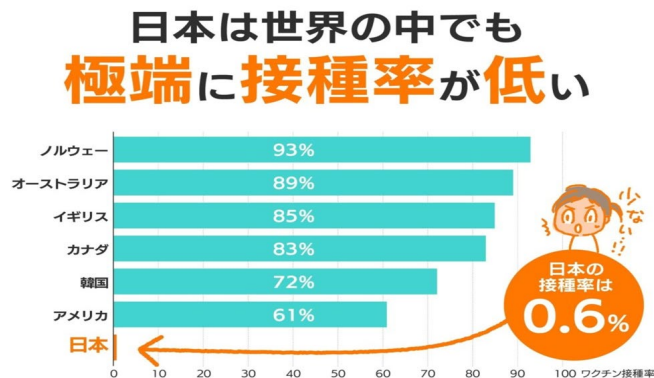
〈一次予防〉

HPVワクチンとは、**HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染を予防するワクチン**のことです。HPVは子宮頸がんの原因だけでなく、**肛門がん、陰茎がん**など、男性もかかるがんの原因でもあります。しかし、HPVは突然変異で変化しないため、**ワクチンを打つことで感染の予防が可能です**。

HPVワクチンは、**小6～高1の女子を対象とした定期予防接種で、定期予防接種としてなら無料で接種可能**です。対象年齢を過ぎてしまうと**自費（全3回で計5～6万円）**になります。

日本では、**0.6%**と他国に比べて極端に接種率が低い状況となっています。

他国では、近い将来には子宮頸がんが撲滅されるといわれている国があります。世界では排除され、なくなろうとしている子宮頸がんの感染リスクに、**日本女性は今もさらされています**。



<https://minpapi.jp/hpw-immunization-rate/>



〈二次予防〉

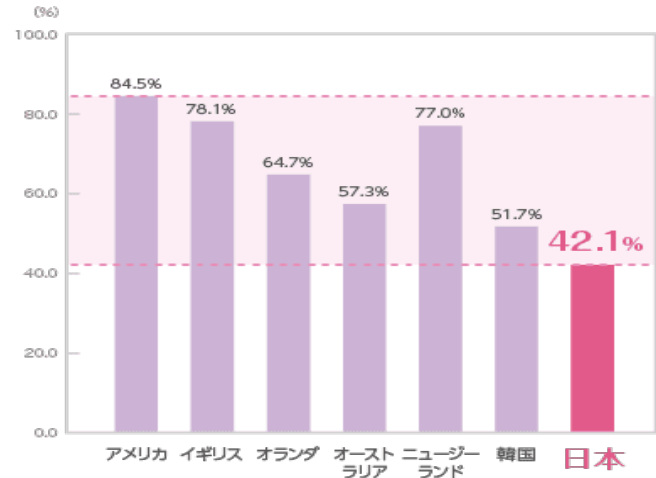
子宮頸がん検診は、**市民検診・職場検診・人間ドック**などで受けることができ、対象は**20歳以上の女性**で、2年に1回子宮頸がん検診を受けることが推奨されています。市民検診はお住まいの自治体により、費用は異なりますが、自己負担は500～1,000円程度です。

検診は①**問診表の記入**（自覚症状や月経の状態など）→②**視診**（膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察）・**細胞診**（ブラシやヘラなどで子宮頸部を優しくこすり、細胞を採取）・**内診**（手で子宮や卵巣の形や大きさを観察）の順に進んでいき、問題がなければ所要時間は**1～2分程度**です。

日本での子宮頸がん検診の受診率は、**約4割**となっています。これは、アメリカと比べると半分以下の受診率です。

対象は20歳以上の女性ですが、**20歳代の検診受診率はわずか26.5%です。**

一生のうちにおよそ73人に1人が子宮頸がんと診断されている状況です。自分は大丈夫と思わずに、一度検診を受けてみませんか？



私たちが作成しました！



1年生



2年生

このロゴも作りました→

